



東京都立鹿本学園 学校通信 令和5年12月20日号

東京都立鹿本学園

校長 高橋 馨

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

# 学びの虹

## 「夢」「未来」「友」「絆」 ～虹輝祭～

開校から9回目となる虹輝祭は、今年も無事に全ての予定を終えることができました。事前の準備や当日の受付業務等、PTA・保護者の皆様には様々な面で御支援・御協力いただきましたこと心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年の虹輝祭は、昨年度の学校評価アンケートを受け、3年に1回は舞台発表が経験できるようにと、小学部3年の発表が新たに加わりました。同様に保護者・御家族の参観についても人数や対象の制限を無くしました。これにより舞台・展示の両方で、昨年度よりも多くの来場者を迎えることができました。舞台発表の会場は多くの来場者を迎えたことで、より大きな拍手や応援をいただくこともできました。子供達は舞台と客席が一体となるような充実した環境の中、自信をもって練習の成果を発揮することができたのではないかと感じております。

標題の言葉は、今年の舞台発表や展示作品から伝わってきた、私の心に響いたものの一部を挙げさせていただきました。参観された皆様にはどのようなセリフやメッセージが届いたでしょうか。子供達からのたくさんの思いが、そして成長が伝わっていれば幸いです。温かな応援、本当にありがとうございました。

## ミラコン～未来を見通すコンテスト～

「ミラコン」とは、全国の肢体不自由特別支援学校高等部を対象に2018年から始まったプレゼンカップ～未来を見通すコンテスト～のことです。高等部の生徒が、自身の体験を基に共生社会の実現に向けた提言（プレゼンテーション）を発表し合う全国規模の大会で、本校も東京予選に参加しています。その決勝大会が、

今月13日に池袋・芸術劇場をメイン会場に全国7ブロックの代表者をオンラインで結び開催されました。今年、第1位（文部科学大臣賞）となったのは、東京ブロック代表者（城南特別支援学校）による「AIと共に生きるためには」というプレゼンでした。「AIに頼るだけでなく、AIを使って出来ることを考えることで、私たちの未来は広がる」というメッセージを、不随意運動により車いすの操作が難しい生徒が、AIの助けで車いすが使えるようになる未来と重ねた発表でした。また、中国・四国ブロック代表者のバリアフリーに関する発表では、バリアにより楽しみにしていたイベントへの参加が叶わなかった経験を基に、バリアフリー化は進んでいてもまだまだ十分ではないことを強い思いを込めて発表していました。

『Nothing About Us Without Us!（私たちのためのことを、私たち抜きで決めないで!）』。ミラコンの発表を聞いていて、改めてこの言葉を強く意識しました。そして、鹿本学園の校長として、子供たちが社会に対し自分たちのことをしっかりと伝えられるよう育てていかなければならないこと、そのためにも子供たちの思いをしっかりと受け止めなければならぬことを感じたところです。保護者の皆様は子供たちの代弁者でもあります。是非、保護者だからこそ伝えられる思いをお伝えください。保護者の皆様との緊密な連携のもと学習活動の充実に努めてまいります。引き続き御理解・御協力くださいますようお願いいたします。

なお、令和5年度学校評価アンケートは現在も入力が可能です。回答がまだの方は、是非、御協力くださいますようお願いいたします。

鹿本学園校長 高橋 馨

# ～虹輝祭をふりかえって～

今年は、開校10周年の記念の虹輝祭！SN 合同開催になって、3回目の虹輝祭も無事盛大に行うことができました。誠にありがとうございました。

様々な制約が少しずつとれて、やっと舞台発表、展示発表共に、観客の人数制限がなくなり多くの方に御覧いただくことができました。また、発表学年も卒業学年に加え、SNとも小学部3年生の参加で、7団体となり盛り上がった虹輝祭となりました。どの発表もステージの中に引き込まれていくような素敵な発表でした。何より、舞台上がる前と後の皆さんの表情の違いが充実した取り組みの証だったと思います。

第2体育館での作品展示の方も、色とりどりの力の込められた作品が並びました。10周年コーナーには、各学部の合同作品の虹やケーキ、看板などが並び、圧巻でしたね。

友達の発表や作品を見合っ、お互いに頑張ったところを褒め合うそんな素敵な虹輝祭になり、発表に向けた取り組みや頑張った思い出、楽しかった思い出は、今後の学校生活の大きな励みや自信につながるでしょう。

教務A3 虹輝祭担当 齊藤 弘子



虹輝祭、作品展示も好評でした。  
ありがとうございました。